

作:太田直樹

現場風景



▽福祉委員会は「新感を知る事ができる。」

「わなげで発見!蒲郡探検隊!」蒲郡市を舞台にした輪楽しく遊びながら、蒲郡市の公園を知る事ができる。

▽福祉委員会は「新感を知る事ができる。」



若者議員達は全体会議と自主的に開催している小委員会を行うことで九月の事業実施に向けて着々と準備を進めている。新型コロナウイルスの状況を見極めながらではあるが、思い描いた政策が形になることを存分に楽しんでほしいと思う。

九月の事業実施に向けて!



第十回全体会議

第九号

がまわか新聞

蒲郡若者会議

中間報告会の振り返りと九月実施の事業検討

第十回全体会議 熱く政策検討を行う

若者の目線で理想のまちを考える「蒲郡若者会議」の第十回全体会議が、十八日、勤労福祉会館で行われた。

各委員会ごとに分かれて、中間報告会の振り返りと政策立案シートの完成、九月の福寿稲荷こりやく市で実施する事業について熱く語り合った。新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、こりやく市の開催が延期になる可能性もあるものの、若者議員達は若者ならではの自由で楽しい事業の実施を目指している。各委員会の事業は以下の通り▽観光委員会は「創ろう理想の蒲郡」がまCreate「蒲郡市にあったらいいなと思う施設などを盤面に書かれた小さな蒲郡市に自由に開発・設計できる。「がまクリエイター」となって自分だけの理想の蒲郡を創ることができ

▽観光委員会は「蒲郡ブックマークリサーチ」蒲郡市のおすすですポット、飲食店などのインタビュ。取材の様子を動画撮影する。撮影用に様々なコスチュームが用意されている。▽子供委員会は「わなげで発見!蒲郡探検隊!」蒲郡市を舞台にした輪楽しく遊びながら、蒲郡市の公園を知る事ができる。

▽福祉委員会は「新感を知る事ができる。」

覚障害物タイムトライアル」全身に高齢者疑似体験装具を装着してコースの障害物をクリアしたタイムを測定する。二回目は動作を補助する道具を使い、動作が楽になることを体験。

▽地域委員会は「アードレ湯る」後世に残していかなければならない蒲郡市の宝物といえは温泉。若者自身で魅力を創造していくため、温泉とアートを組み合わせさせたワークショップを実施する。

アイスブレイクは「ほぎやぶらチェック」

議論を活発に行うために今回もアイスブレイクを実施。「ほぎやぶらチェック」というゲームは五分間であるお題を英語のみでいくつ相手に伝えるかという数に競うゲームである。日本語やジェスチャーが使えない中うまく英単語を使ってお題を表現していた。結果は、観光委員会が十六個でトップの座を奪回。次点は地域委員会の十五個であった。

蒲若春秋



第十回全体会議は勤労福祉会館で対面で行うことができた。新型コロナウイルス対策を万全にした中での開催となり、若者議員、メンバーの活発な話し合いが行われていたことをとてもうれしく思う。

近頃はオンラインで会議等を行う機会が増えた。最初は慣れなかったが、会場設備の必要がないこと、参加者が移動しなくても良いこと等、便利な部分もあると感じるようになった。しかしながら、対面で行うことの良さのひとつに、会議の開始前や休憩中、会議終了後に、そばにいる人と何気ない会話ができるということがある。

そこで新しい知識を取り入れたり、アイデアを思い付いたりということもあるだろう。

